

本調査は、本紙ならびに政府統計オンライン調査総合窓口 (https://www.e-survey.go.jp) からインターネット回答も可能です。インターネットで回答される場合は、以下の「インターネット回答の利用者情報」をご利用ください。下記 QR コードからもアクセスできます。詳しくは、同封の「インターネット回答のご案内」をご参照ください。

インターネット回答の利用者情報

政府統計コード	調査対象者 ID	パスワード

令和6年首都圏の住宅における感震ブレーカーの普及状況等に関する調査
調査票



統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。



令和6年7月
内閣府

■ この調査は、首都直下地震の発生に備え、緊急に地震防災対策を推進する必要がある区域^{※1}を含む都府の世帯を対象に、大規模地震発生に伴う電気火災への備え等についてお尋ねするものです。

(令和6年8月16日までに提出)

※1 首都直下地震対策特別措置法 (平成25年法律第88号) に基づく首都直下地震緊急対策区域

- ・2024年5月1日時点における状況について、以下の設問ごとに、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- ・本調査票は原則世帯主の方がご回答いただきますようお願いいたします。
- ・ご記入いただいた調査票は統計以外の目的には使用しませんので、ありのままをご記入ください。

<あなたの世帯について>

世帯人数 / _____ 人 世帯主の方: 年齢帯 / _____ 歳代 性別 / 男・女

※ ご回答いただいた内容について問合せをさせていただく場合があるため、ご連絡先の記載をお願いいたします。オンラインで回答いただいた場合は、回答時のメールアドレス宛に問合せをさせていただく場合があります。

電話番号: _____ 御名前: _____

I 現在お住まいの住宅について、全員の方にお伺いします。

問1. どのような建て方ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 一戸建 | 2. 長屋建 (テラスハウスなど) |
| 3. 共同住宅 (マンション・アパートなど) | 4. その他 |

問2. どのような構造ですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 木造・防火木造 | 2. 鉄骨造・軽量鉄骨造 |
| 3. 鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造 | 4. その他 |

問3. 持ち家か借家かなどの別 (○は1つ)

- | | | |
|---------------------------|-------|-----------|
| 1. 持ち家 | 2. 借家 | 3. 住宅に間借り |
| 4. 住宅以外の建物 (寄宿舍・旅館・宿泊所など) | | |

問4. 現在お住まいの住宅への居住期間 (入居時期) (○は1つ)

※入居してから住宅が建て替えられた場合は、建て替え後の住宅について記入してください

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 1. 5年以内 (令和2年以降) | 2. 5年より長く、10年以内 (平成27~令和元年) |
| 3. 10年以上 (平成26年以前) | 4. 生まれたときから住んでいる |

問5. 現在のお住まいの建築 (完成) の時期 (○は1つ)

※増改築や改修工事等をした場合は、その部分が現住宅の床面積の合計の半分以上であれば、その時期を建築の時期とします

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 5年以内 (令和2年以降) | 2. 5年より前で10年以内 (平成27~令和元年) |
| 3. 10年より前 (平成26年以前) | 4. 分からない |

II 大規模地震に伴って発生する電気火災について、全員の方にお伺いします。

問6. 地震時に、電熱器具や配線など、電気が原因で火災が発生する場合があることをご存じですか。(この調査を実施する前の状態でお答えください。) (○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

※ 1を選んだ方は、問6-1にもお答え下さい。

問6-1. 電気火災の存在を認識したきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|---------------------|----------|
| 1. 報道や書籍等 | 2. 訓練や防災教育の機会 | 3. 家族や知人 |
| 4. 自治体の広報 | 5. 自治体からの感震ブレーカーの支給 | 6. その他 |

(→次面に進んで下さい)

※ 問9で、1または2を選んだ方にお伺いします。

問10. 設置している、または設置することが決まっている感震ブレーカーのタイプをすべてお選びください。認証・推奨マークの有無についてもお答えください。(〇はいくつでも)

1. 分電盤に内蔵されたタイプ (認証マーク: ある・ない)
2. 分電盤に外付けしたタイプ (認証マーク: ある・ない)
3. ブレーカーに、自分で重りなどを取り付けるタイプ (推奨マーク: ある・ない)
4. コンセントに内蔵、または差し込むタイプで、地震の揺れを感知するとそのコンセントが遮断される (推奨マーク: ある・ない)
5. コンセントに内蔵、または差し込むタイプで、地震の揺れを感知すると主幹ブレーカーが遮断される (推奨マーク: ある・ない)

※ 4または5を選んだ方は、問10-1、問10-2にもお答え下さい。

問10-1. 感震ブレーカー機能のあるコンセントは、何箇所ですか。(〇は1つ)

1. 1箇所
2. 2~3箇所
3. 3箇所以上 (すべてではない)
4. 使用しているコンセントのすべて

問10-2. 感震ブレーカー機能のあるコンセントには、どのような機器を繋いでいますか。(〇はいくつでも)

1. コンセントに繋ぎ放しの機器 (冷蔵庫、テレビ等)
2. 電熱器具 (ストーブ、こたつ、電気毛布等)
3. その他の機器
4. 接続している機器はない

問11. 感震ブレーカーを設置、または設置を決めた時期はいつ頃ですか。設置時期が複数ある場合は、最も古い時期をお答え下さい。(〇は1つ)

1. 最近3箇月以内
2. 3箇月よりも前で1年以内
3. 1年よりも前で5年以内
4. 5年より前
5. もともと設置されていた

問12. 感震ブレーカーを設置、または設置を決めたのは、どのようなタイミングでしたか。(〇は1つ)

1. 住まいを新築、または購入した
2. 住まいをリフォームした
3. 賃貸住宅に引っ越した
4. その他

問13. 現在お住まいの住宅に感震ブレーカーを設置しようと考えたきっかけについて、当てはまるものを、すべてお選びください。(〇はいくつでも)

1. 報道等により、電気火災への対策が重要だと認識した
2. 自治体や自治会、消防訓練などで勧められた
3. 新築・リフォーム時に勧められた
4. 知人・親族等に勧められた
5. 自治体から支給された
6. もともと設置されていた
7. その他

問14. 停電時の備えとして、電気が遮断すると支障のある機器 (生命の維持に直結する医療用機器やコンピュータのサーバー等) のために、バッテリーや非常用電源を備えていますか。(〇は1つ)

1. はい
2. いいえ
3. 該当する機器等はない

問15. 感震ブレーカーの設置を考える前と現在とで、防災に対する意識や行動の変化について当てはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

1. 電気火災に限らず防災意識が高まった
2. 電気火災に対する防災意識が高まった
3. 特に変化はない
4. 電気火災に対する不安が軽減された
5. 電気火災に対する不安が軽減し、電熱器具等のコンセントのプラグを抜かなくなった
6. その他

※ 問17に進んでください。

(→次面に進んで下さい)

※ 問9で、3を選んだ方にお伺いします。

問16. 現在お住まいの住宅に感震ブレーカーを設置する意向はありますか。(〇は1つ)

1. 設置したいと思っている
2. 設置する意向はない
3. どちらでもない

※1を選んだ方は、問16-1にもお答え下さい。

問16-1. 感震ブレーカーの設置に至っていない理由について、当てはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

1. 入手方法が分からないから
2. 設置が面倒だから
3. 価格が高いから
4. 電気が遮断されると支障のある機器等があるから
5. 賃貸住宅だから
6. 現在の住まいには短期間しか住まないから
7. その他

※2を選んだ方は、問16-2にもお答えください。

問16-2. 感震ブレーカーを設置しようと思わない理由について、当てはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

1. 感震ブレーカーのことをよく知らないから
2. 周囲の様子を見てから考えたい
3. 必要性を感じないから
4. 電気が遮断されることが不安だから
5. 入手方法が分からないから
6. 価格が高いから
7. 設置が面倒だから
8. 過去に感震ブレーカーで不都合を経験したから
9. 賃貸住宅だから
10. 現在の住まいには短期間しか住まないから
11. その他

IV 防災対策・大規模地震時に揺れが収まった後の行動について、全員の方にお伺いします。

問17. 地震時の防災対策として、感震ブレーカーの設置以外に普段から意識していることや、取り組まれていることをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

1. 飲料水や食料、非常用トイレ等の備蓄
2. 懐中電灯や常備灯などの停電時の明かりの確保
3. バッテリーや自家発電機などの備え
4. 消火器や水バケツ等の設置
5. 家具の固定や転倒防止
6. 風呂の水貯め
7. 使用していない電熱器具のコンセントはプラグを抜く
8. 火気や電熱器具のそばには、燃えやすいものを置かない
9. コンセント周辺にほこりを溜めたり濡らしたりしない
10. タコ足配線や電源コードを束ねないなど、電気を正しく使用している
11. 避難場所や避難経路の確認
12. 防災訓練への参加
13. 地震保険への加入
14. 災害時の連絡手段の確保・確認(災害用伝言ダイヤル等を含む)
15. その他
16. 特に何もしていない

問18. ご自宅で、危険を感じる地震に遭遇した場合、揺れが収まった後にあなたが取るであろう行動として当てはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

1. ヒーターなどの電熱器具やガスコンロなどの火気器具を止める。
2. ガスの元栓を閉める
3. 電化製品のコンセントを抜く
4. 風呂、シンク、バケツ等に水を貯める
5. 屋外に避難する場合はブレーカーを落とす
6. どれにも当てはまらない

(ご協力ありがとうございました。)